

ラクト・ジャパン | 3139 |

当PDF文書は上に示されている企業に関する詳細レポートのアップデート版として作成されたものです。
詳細レポート全体につきましては弊社ウェブサイト (<http://www.sharedresearch.jp>) をご覧下さい。



2023年7月13日、株式会社ラクト・ジャパンは、2023年11月期第2四半期決算を発表した。
(決算短信へのリンクは[こちら](#)、決算説明補足資料へのリンクは[こちら](#))

2023年11月期第2四半期（2022年12月～2023年5月）実績

概要

- 売上高：80,450百万円（前年同期比15.3%増）
- 営業利益：1,706百万円（同8.7%減）
- 経常利益：1,345百万円（同19.2%減）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：923百万円（同23.6%減）
- 為替レート：1米ドル133.82円（前年同期は119.55円）、1ユーロ144.09円（同132.11円）

2023年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高50.3%（2022年11月期実績に対する前年同期実績の進捗率47.3%）、経常利益42.0%（同53.1%）、当期純利益39.6%（52.8%）となった。同社によれば、第2四半期決算が前年同期比増収減益になることは期初見通しのとおりであり、中国景気の影響を除けばほぼ想定通りであった。

事業環境

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症への対応の収束とともに、経済活動が活発化した。入国制限緩和や国・地方自治体による旅行支援の継続などにより人流が増加し、景気は緩やかな回復の兆しが見え始めた。さらに、2023年5月には日本政府が新型コロナウイルス感染症を季節性インフルエンザと同等の分類に変更したことで、社会・経済活動は本格的にウィズコロナの生活様式に移行した。世界ではロシア・ウクライナ情勢の長期化、原料やエネルギーコストの高騰、インフレの継続などを背景に各国で景気減退懸念が高まり、先行き不透明な状況が続いた。

国内の食品業界においては、外食・レジャー産業が活気を取り戻し、外食向けなど業務用の食品需要が回復した。しかし、原料・エネルギーコスト高をカバーするために多くの食品が値上げされ、家庭用需要は伸び悩んだ。同社の主要市場である乳業界においても、2023年4月の乳価の値上げにより牛乳や乳製品の価格が上昇し、消費が伸び悩んだ。一方、継続課題となっていた脱脂粉乳在庫の水準は、酪農・乳業界が一体となって取り組んでいる需給緩和対策の実行や生乳生産抑制の効果により、徐々に適正化に向かっている。

ウィズコロナ政策が日本より先行した東南アジア各国では、外食産業の回復により業務用需要が堅調であったものの、感染症が再拡大した中国の需要減少の影響も大きく、食品業界の回復スピードは減速した。

増収の要因

増収の主な要因は、2022年における相場高と円安の影響により、単価の高い商品の販売が進んだことである。前述のような事業環境の下、外食・レジャー産業の回復に伴い、業務用を中心に需要は回復傾向にある。単価の高い商品の販売が進み、景気回復が遅れている中国の影響を受けたアジア・チーズ販売事業以外のすべての部門にお

いて増収となった。最終製品値上げによる買い控えの影響もあり、販売数量は全体的に伸び悩んだものの、当第2四半期（2023年3月～5月）における食肉食材部門の販売数量は29.2%増となった。

営業減益の要因

アジア・チーズ製造販売事業において、前期価格が高騰していた際に調達した原料チーズにより、利益率が低下した。原価率の上昇を主に売上原価は前年同期比16.1%増加し、売上総利益は同1.2%増にとどまり、売上総利益率は5.0%（同0.7%ポイント低下）となった。営業利益は同8.7%減少、営業利益率は同0.6%ポイント低下して2.1%となった。

経常利益は同19.2%減益

前年同期は54百万円の為替差益を計上したが、当第2四半期は為替差損が189百万円となった。なお、当第2四半期の経常利益には為替のマイナス影響が72百万円含まれており、その影響を補正した調整後経常利益は1,417百万円となる。期初予想の経常利益1,540百万円に対し、調整後経常利益の達成率は92.0%であった。同じベースで補正した前年同期の調整後経常利益1,707百万円と比べて、調整後ベースでは前年同期比17.0%の減益であった。

* 同社では、営業取引において為替リスクを回避するため、外貨仕入額に関して基本的に仕入契約締結時に行替予約を行っている。一方、会計処理における仕入計上は、仕入契約を締結してから一定期間経過した後の船積時に行われる。円高が進行している場合には、仕入計上時に使用する為替レートが予約レートを下回る（円高）ことになる。売上時に認識される売上総利益は、仕入計上レートを使用した売上原価をもとに算出されるため、この時点の売上原価は、円高の影響により仕入契約締結時に定めた原価よりも低くなる。一方、このような場合には、為替ヘッジの効果として、営業外収益に為替差損が計上される。

部門別の動向

乳原料・チーズ部門：売上高56,791百万円（前年同期比20.3%増）・販売数量85,335トン（同11.5%減）

2023年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高53.4%、販売数量49.6%となった。

インバウンドを含む人流の回復とともに、外食・レジャー産業の回復により、業務用の乳原料販売は底堅く推移した。特に、土産品や菓子などに対する需要が回復したことにより、チョコレートの原料となる乳糖や全粉乳の販売が伸長した。一方、主要取扱商品である脱脂粉乳や輸入調整品は、脱脂粉乳の過剰在庫対策事業により国産品への置き換えが進み、販売数量が減少した。

国産脱脂粉乳の在庫水準は徐々に低下しており、在庫量は2022年5月に100千トンのピークをつけたあと減少が続く、2023年3月以降は60千トン台で推移している。酪農・乳業界が一丸となって取り組んだ過剰在庫対策事業や生乳生産抑制の効果などにより、今後も在庫調整が進む見通しである。

また、欧州など主要な酪農産地における生乳生産業が増加する一方で、乳製品の最大の輸入国である中国の需要が景気回復の遅れにより低迷し、乳製品の国際価格は軟調に推移している。これに対して国産の乳製品価格は乳価の値上げを背景に上昇しているため、輸入乳原料の価格競争力が戻りつつある。円安傾向が続くという不確定要素はあるものの、足下では輸入原料の引き合いが増加している。

チーズ事業においても、外食向けをはじめとした業務用需要は回復したものの、最終製品の値上げにより小売需要が冷え込んだことから、販売数量は伸び悩んだ。なお、同社によれば、チーズについては国際価格の下落とともに、足下では引き合いや受注が回復傾向にある。

食肉食材部門：売上高8,996百万円（前年同期比24.6%増）・販売数量13,878トン（同14.7%増）

2023年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高59.2%、販売数量49.6%となった。

食肉食材部門では、最終製品の値上げにより、家庭用需要は伸び悩みがみられたものの、外食を中心とした業務用需要の回復により、主力商品であるチルドおよびフローズンポークの販売は好調であった。輸入ポーク市場では、欧州産ポークの市場価格が上昇する中、同社は価格優位性のある北米産ポークの販売を伸ばした。同社の主要仕入れ先である米国の食肉メーカーでは人材確保が進んだことで生産体制の改善がみられる。加工を必要とする製品の調達にはまだ若干の懸念は残るものの、チルド・フローズンポークの供給量は十分な水準となっている。

食肉食材部門では取扱商品の多様化を図っており、当第2四半期では需要が高まっている鶏肉の販売に注力した。また、国内外から調達した食肉加工品の販売にも注力しており、今後取り扱いを増やす方針である。

アジア事業・その他：14,661百万円（前年同期比4.6%減）

アジアでは、乳原料販売部門において、日本向け調整品原料の販売が減少したものの、アジア拠点と本社が連携して取り組んだ日本産脱脂粉乳の販売は、順調に推移した。チーズ製造販売部門においては、景気回復が遅れている中国向けの需要減少の影響がアジア各国に波及したことや、価格改定の影響により、プロセスチーズの販売数量が伸び悩んだ。

乳原料販売部門（商社）：売上高10,564百万円（前年同期比14.0%減）・販売数量21,088トン（同20.6%減）

2023年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高39.4%、販売数量37.3%となった。

乳原料販売部門では、過剰在庫対策事業のため日本から輸出された脱脂粉乳の販売が順調に進捗したものの、日本向け調整品原料の販売が伸び悩み、販売量は前年同期比20.6%減となった。日本産脱脂粉乳の販売先は、シンガポールやフィリピンなどの現地食品メーカー中心で、その中にはこの事業を契機として新規に取引が始まった顧客も含まれる。同社は今後、これらの新規顧客との取引継続を図り、欧米産の乳原料も積極的に提案することで取引拡大を目指す。

チーズ製造販売部門（メーカー）：売上高2,246百万円（前年同期比22.9%増）・販売数量2,369トン（同1.4%増）

2023年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高48.8%、販売数量40.2%となった。

新型コロナウイルス感染症の再拡大などにより景気回復が遅れている中国の需要減少がアジア地域全般に影響し、プロセスチーズの販売数量が減少した。特にタイでは、中国向け製品も扱う現地の食品メーカー向け販売で苦戦した。シンガポールにおいても、中国向け食品に使用される原料チーズが伸び悩んだ。しかしながら、中国を除くアジア市場の外食向け需要は好調であり、また近年引き合いが増えているナチュラルシュレッドチーズの販売も順調だったことから、販売数量は前年同期並みを確保した。

その他：売上高1,851百万円（前年同期比47.1%増）

2023年11月期通期会社予想に対する進捗率は、売上高26.4%となった。

その他の事業として2020年11月期から開始し、新たな成長の柱として注力している機能性食品原料販売は堅調に進捗した。取扱商品は引き続きホエイプロテイン原料が中心であり、これまでスポーツジムのブランドオーナー向けなどの拡販に注力してきた。引き続き成長が見込まれるプロテイン市場は、一般食品分野にも広がりつつあり、女性や高齢者向けのプロテイン食品が伸長している。ニーズが多様化する中、プロテイン以外の機能性食品原料との組み合わせをスポーツジムのブランドオーナー以外にも提案し、販路の拡大に取り組み始めた。競争が激

しいプロテイン市場において、複数の原料の組み合わせによる機能強化やレシピの提案など、付加価値を高めた販売活動により、事業拡大を目指す。

財政状況について

流動資産は前期末より7,302百万円増加し、77,369百万円となった。主な要因は、商品および製品が4,305百万円、現金及び預金が2,207百万円、受取手形および売掛金が1075百万円それぞれ増加したことによる。固定資産は前期末より47百万円増加し、3,437百万円となった。これは主に、投資その他の資産が74百万円、無形固定資産が12百万円増加した一方、有形固定資産が39百万円減少したためである。

流動負債の残高は前期末より5,540百万円増加し、46,642百万円となった。運転資金の増加に伴い、短期借入金が6,674百万円増加したこと、コマーシャル・ペーパーが1,000百万円増加した一方で、買掛金が1713百万円減少したことによる。固定負債は主に長期借入金が622百万円増加したことから、前期末より621百万円増加して10,495百万円となった。純資産は、利益剰余金が526百万円、繰延ヘッジ損益が441百万円、為替換算調整勘定が155百万円増加したことから、前期末と比べ1,187百万円増の23,669百万円となった。

棚卸資産は前期末より4,305百万円増加し、44,220百万円となった。この理由は、前期の商品相場高・円安時に契約した商品の仕入れが進んだことによる、円建ての商品単価の上昇に加え、次の3つの数量要因が挙げられる。なお同社によれば、棚卸資産は原則販売に紐づいており、在庫リスクは負っていない。

- 1) 国内のチーズ市場では最終商品の値上げで需要が低調となり、同社の原料販売の進捗が鈍化した。
- 2) 食肉食材事業においては、欧州地域での相場高を受けて北米地域の食肉メーカーからの原料を早めに確保する動きがあり、発注が増加している。
- 3) 経済活動の回復により受注が増加したことにより、数量が増加した。

四半期業績動向（累積）

四半期累計 (百万円)	21年11月期				22年11月期				23年11月期		23年11月期	
	1Q 連結	1-2Q 連結	1-3Q 連結	1-4Q 連結	1Q 連結	1-2Q 連結	1-3Q 連結	1-4Q 連結	1Q 連結	1-2Q 連結	進捗率	会予
売上高	23,994	52,648	79,630	110,884	31,755	69,788	107,486	147,423	38,745	80,450	50.3%	160,000
前年同期比	-15.0%	-9.1%	-6.4%	0.0%	32.3%	32.6%	35.0%	33.0%	22.0%	15.3%		8.5%
乳原料・チーズ部門	17,090	36,952	54,996	76,481	22,024	47,202	72,356	98,821	27,594	56,791	53.4%	106,400
前年同期比	-14.8%	-7.5%	-8.2%	-2.4%	28.9%	27.7%	31.6%	29.2%	25.3%	20.3%		7.7%
構成比	71.2%	70.2%	69.1%	69.0%	69.4%	67.6%	67.3%	67.0%	71.2%	70.6%		
食肉食材部門	3,116	6,769	10,380	14,278	3,530	7,221	10,927	15,135	4,063	8,996	59.2%	15,200
前年同期比	7.4%	10.8%	18.2%	20.0%	13.3%	6.7%	5.3%	6.0%	15.1%	24.6%		0.4%
構成比	13.0%	12.9%	13.0%	12.9%	11.1%	10.3%	10.2%	10.3%	10.5%	11.2%		9.5%
アジア事業（乳原料販売）	2,829	6,809	11,111	15,754	4,783	12,279	19,405	26,672	5,248	10,564	39.4%	26,800
前年同期比	-35.9%	-32.8%	-19.2%	-7.5%	69.1%	80.3%	74.6%	69.3%	9.7%	-14.0%		0.5%
構成比	11.8%	12.9%	14.0%	14.2%	15.1%	17.6%	18.1%	18.1%	13.5%	13.1%		16.8%
アジア事業（チーズ製造販売）	801	1,689	2,428	3,324	935	1,827	2,892	3,984	1,087	2,246	48.8%	4,600
前年同期比	17.9%	24.9%	19.3%	14.8%	16.7%	8.2%	19.1%	19.9%	16.3%	22.9%		15.5%
構成比	3.3%	3.2%	3.0%	3.0%	2.9%	2.6%	2.7%	2.7%	2.8%	2.8%		2.9%
その他	156	428	712	1,044	481	1,258	1,904	2,808	751	1,851	26.4%	7,000
前年同期比	-7.1%	10.9%	24.9%	51.1%	208.3%	193.9%	167.4%	169.0%	56.1%	47.1%		149.3%
構成比	0.7%	0.8%	0.9%	0.9%	1.5%	1.8%	1.8%	1.9%	1.9%	2.3%		4.4%
<販売数量>												
乳原料・チーズ部門(トン)	43,141	91,993	135,032	184,358	46,731	96,454	141,079	182,957	40,578	85,335	49.6%	172,000
前年同期比	-12.7%	-6.4%	-7.2%	-3.8%	8.3%	4.8%	4.5%	-0.8%	-13.2%	-11.5%		-6.0%
食肉食材部門(トン)	5,736	12,567	19,013	25,699	6,004	12,096	18,224	24,775	6,005	13,878	49.6%	28,000
前年同期比	9.9%	9.7%	17.8%	17.2%	4.7%	-3.7%	-4.1%	-3.6%	0.0%	14.7%		13.0%
アジア事業(乳原料販売)(トン)	9,918	22,690	34,546	47,817	11,397	26,549	38,906	50,423	10,374	21,088	37.3%	56,500
前年同期比	-32.4%	-35.0%	-28.4%	-20.5%	14.9%	17.0%	12.6%	5.4%	-9.0%	-20.6%		12.1%
アジア事業(チーズ製造販売)(トン)	1,120	2,334	3,355	4,635	1,253	2,336	3,579	4,786	1,154	2,369	40.2%	5,900
前年同期比	10.5%	17.7%	13.8%	10.4%	11.9%	0.1%	6.7%	3.3%	-7.9%	1.4%		23.3%
<単価>												
乳原料・チーズ部門(円/kg)	396	402	407	415	471	489	513	540	680	666		
前年同期比	-2.4%	-1.1%	-1.1%	1.5%	19.0%	21.8%	25.9%	30.2%	44.3%	36.0%		
食肉食材部門(円/kg)	543	539	546	556	588	597	600	611	677	648		
前年同期比	-2.2%	1.0%	0.4%	2.4%	8.2%	10.8%	9.8%	10.0%	15.1%	8.6%		
アジア事業(乳原料販売)(円/kg)	285	300	322	329	420	463	499	529	506	501		
前年同期比	-5.1%	3.4%	12.9%	16.4%	47.1%	54.1%	55.1%	60.6%	20.5%	8.3%		
アジア事業(チーズ製造販売)(円/kg)	715	724	724	717	746	782	808	832	942	948		
前年同期比	6.6%	6.1%	4.8%	4.0%	4.3%	8.1%	11.7%	16.1%	26.2%	21.2%		
売上原価	22,316	49,274	74,599	104,243	30,033	65,832	101,492	139,962	36,639	76,448		
前年同期比	-15.9%	-9.6%	-6.7%	0.0%	34.6%	33.6%	36.1%	34.3%	22.0%	16.1%		
原価率	93.0%	93.6%	93.7%	94.0%	94.6%	94.3%	94.4%	94.9%	94.6%	95.0%		
売上総利益	1,678	3,375	5,032	6,641	1,722	3,956	5,994	7,462	2,107	4,002		
前年同期比	-0.5%	-1.0%	-1.0%	0.2%	2.6%	17.2%	19.1%	12.4%	22.4%	1.2%		
利益率	7.0%	6.4%	6.3%	6.0%	5.4%	5.7%	5.6%	5.1%	5.4%	5.0%		
販管費	865	1,844	2,786	3,854	982	2,088	3,228	4,490	1,093	2,296		
前年同期比	-6.2%	1.0%	2.9%	5.1%	13.5%	13.2%	15.9%	16.5%	11.4%	10.0%		
売上高販管費率	3.6%	3.5%	3.5%	3.5%	3.1%	3.0%	3.0%	3.0%	2.8%	2.9%		
営業利益	813	1,530	2,245	2,787	740	1,868	2,766	2,971	1,013	1,706		
前年同期比	6.4%	-3.2%	-5.5%	-5.8%	-9.0%	22.0%	23.2%	6.6%	36.9%	-8.7%		
利益率	3.4%	2.9%	2.8%	2.5%	2.3%	2.7%	2.6%	2.0%	2.6%	2.1%		
為替差損益	-50	0	123	81	7	-54	180	445	-242	-189		
前年同期比	-	-	-	-	-	-	45.4%	452.7%	-	-		
売上高比率	-0.2%	0.0%	0.2%	0.1%	0.0%	-0.1%	0.2%	0.3%	-0.6%	-0.2%		
営業利益 + 為替差損益	763	1,531	2,369	2,868	747	1,814	2,945	3,416	771	1,516		
前年同期比	-2.2%	-0.8%	0.6%	-3.2%	-2.0%	18.5%	24.3%	19.1%	3.2%	-16.4%		
利益率	3.2%	2.9%	3.0%	2.6%	2.4%	2.6%	2.7%	2.3%	2.0%	1.9%		
経常利益	737	1,412	2,213	2,682	719	1,665	2,725	3,135	744	1,345	42.0%	3,200
前年同期比	-2.1%	-1.5%	0.2%	-3.6%	-2.5%	17.9%	23.1%	16.9%	3.5%	-19.2%		2.1%
利益率	3.1%	2.7%	2.8%	2.4%	2.3%	2.4%	2.5%	2.1%	1.9%	1.7%		2.0%
四半期純利益	527	1,011	1,601	1,959	524	1,207	1,970	2,287	509	923	39.6%	2,330
前年同期比	-3.4%	-2.8%	-0.4%	-5.0%	-0.6%	19.4%	23.1%	16.7%	-2.8%	-23.6%		1.9%
利益率	2.2%	1.9%	2.0%	1.8%	1.6%	1.7%	1.8%	1.6%	1.3%	1.1%		1.5%
為替レート												
円/米ドル	104.30	106.65	107.80	108.97	114.65	119.55	124.80	129.67	132.73	133.82		
円/ユーロ	126.62	128.73	129.43	129.68	129.77	132.11	134.50	136.86	132.73	144.09		

出所：同社データを基にSR社作成

注：百万円未満を四捨五入（会社発表値は百万円未満切り捨て）

四半期業績動向 (3カ月)

四半期 (3カ月) (百万円)	21年11月期				22年11月期				23年11月期	
	1Q 連結	2Q 連結	3Q 連結	4Q 連結	1Q 連結	2Q 連結	3Q 連結	4Q 連結	1Q 連結	2Q 連結
売上高	23,994	28,654	26,982	31,253	31,755	38,033	37,698	39,938	38,745	41,705
前年同期比	-15.0%	-3.5%	-0.6%	21.3%	32.3%	32.7%	39.7%	27.8%	22.0%	9.7%
売上原価	22,316	26,957	25,325	29,644	30,033	35,799	35,659	38,470	36,639	39,809
前年同期比	-15.9%	-3.6%	-0.6%	22.3%	34.6%	32.8%	40.8%	29.8%	22.0%	11.2%
原価率	93.0%	94.1%	93.9%	94.9%	94.6%	94.1%	94.6%	96.3%	94.6%	95.5%
売上総利益	1,678	1,697	1,657	1,609	1,722	2,234	2,039	1,467	2,107	1,896
前年同期比	-0.5%	-1.4%	-1.2%	4.3%	2.6%	31.6%	23.0%	-8.8%	22.4%	-15.1%
利益率	7.0%	5.9%	6.1%	5.1%	5.4%	5.9%	5.4%	3.7%	5.4%	4.5%
販管費	865	979	942	1,067	982	1,106	1,140	1,262	1,093	1,203
前年同期比	-6.2%	8.3%	6.7%	11.4%	13.5%	13.0%	21.0%	18.2%	11.4%	8.7%
売上高販管費率	3.6%	3.4%	3.5%	3.4%	3.1%	2.9%	3.0%	3.2%	2.8%	2.9%
営業利益	813	717	715	542	740	1,127	898	205	1,013	692
前年同期比	6.4%	-12.2%	-9.9%	-7.2%	-9.0%	57.1%	25.7%	-62.1%	36.9%	-38.6%
利益率	3.4%	2.5%	2.6%	1.7%	2.3%	3.0%	2.4%	0.5%	2.6%	1.7%
為替差損益	-50	51	123	-43	7	-61	234	265	-242	53
前年同期比	-	-	580.0%	-	-	-	89.5%	-	-	-
売上高比率	-0.2%	0.2%	0.5%	-0.1%	0.0%	-0.2%	0.6%	0.7%	-0.6%	0.1%
営業利益 + 為替差損益	763	768	838	499	747	1,066	1,132	471	771	745
前年同期比	-2.2%	0.7%	3.3%	-18.0%	-2.0%	38.9%	35.1%	-5.6%	3.2%	-30.1%
利益率	3.2%	2.7%	3.1%	1.6%	2.4%	2.8%	3.0%	1.2%	2.0%	1.8%
経常利益	737	675	801	469	719	947	1,060	409	744	601
前年同期比	-2.1%	-0.8%	3.3%	-18.1%	-2.5%	40.2%	32.4%	-12.7%	3.5%	-36.5%
利益率	3.1%	2.4%	3.0%	1.5%	2.3%	2.5%	2.8%	1.0%	1.9%	1.4%
当期純利益	527	484	590	358	524	684	763	317	509	414
前年同期比	-3.4%	-2.2%	4.0%	-21.2%	-0.6%	41.3%	29.3%	-11.6%	-2.8%	-39.5%
利益率	2.2%	1.7%	2.2%	1.1%	1.6%	1.8%	2.0%	0.8%	1.3%	1.0%

出所：同社データを基にSR社作成

注：百万円未満を四捨五入（会社発表値は百万円未満切り捨て）

2023年11月期通期会社予想

業績推移													
		売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	ROA (%)	ROE (%)
FY11/14	連結	96,550	27.1%	1,532	118.8%	1,653	-1.0%	988	-1.9%	127.79	1,165.58	4.5%	12.2%
FY11/15	連結	98,001	1.5%	720	-53.0%	1,343	-18.8%	831	-15.9%	98.94	1,062.54	3.3%	8.5%
FY11/16	連結	88,679	-9.5%	3,349	365.1%	1,434	6.8%	946	13.8%	96.79	1,167.72	3.7%	8.7%
FY11/17	連結	101,335	14.3%	1,924	-42.6%	2,523	75.9%	1,755	85.5%	179.48	1,302.98	6.0%	14.5%
FY11/18	連結	115,441	13.9%	3,009	56.4%	2,613	3.6%	1,784	1.7%	182.31	1,462.35	5.5%	13.2%
FY11/19	連結	116,794	1.2%	3,144	4.5%	2,747	5.1%	1,963	10.0%	200.11	1,618.31	5.7%	13.0%
FY11/20	連結	110,838	-5.1%	2,959	-5.9%	2,781	1.2%	2,062	5.1%	209.47	1,774.58	6.1%	12.3%
FY11/21	連結	110,884	0.0%	2,787	-5.8%	2,682	-3.6%	1,959	-5.0%	198.73	1,978.42	5.6%	0.11
FY11/22	連結	147,423	33.0%	2,959	6.2%	3,135	16.9%	2,287	16.7%	231.64	1,774.58	6.1%	12.3%
FY11/23	連結会予	160,000	8.5%	-	-	3,200	2.1%	2,330	1.9%	235.52	-	-	-

出所：会社データよりSR社作成

注：百万円未満を四捨五入（会社発表数値は百万円未満切り捨て）

2023年11月期通期連結業績予想

- 売上高：160,000百万円（前年比8.5%増）
- 経常利益：3,200百万円（同2.1%増）
- 当期純利益：2,330百万円（同1.9%増）
- 1株当たり当期純利益：235.52円（前期実績231.64円）
- 1株当たり配当金：48.00円（同40.00円）

当第2四半期決算発表時点で、通期業績予想に変更はない。国産脱脂粉乳の在庫水準の適正化に向けて昨年度にスタートした対策事業は、2024年3月まで継続される見込みである。

2023年8月から国内乳価の値上げが予定されていることから、価格競争力を取り戻しつつある輸入製品の需要拡大を同社は期待している。国産バターは供給が減少しており、ALIC（独立行政法人農畜産業振興機構）の入札は活況を呈しており、輸入バターの需要が高まっている。2022年における原料高により、プロセスチーズの利益率が低下したが、2023年に入ってチーズの国際相場が下落傾向にあることから、下期にかけて利益率は改善すると同社はみている。アジアの新工場開設に向けた準備は、順調に進捗しており、2025年上期からの稼働を目指している。

日本産脱脂粉乳の販売は主に乳製品メーカーなどの現地企業であり、既存の取引先においては商品アイテム追加により取引が拡大している。また、新規の販売先の開拓にも寄与しており、同社は顧客基盤の拡大による事業拡大を期待している。

生ハムやサラミについては、昨年イタリアで発生したアフリカ豚熱（ASF）の影響により引き続きイタリア産商品の輸入が制限されている。生産量の減少を受けてポークの価格が高騰しており、北米産のポークの引き合いが増加している。同社はその影響が今期中続くとみて、当面スペイン産などの代替品の販売により数量維持に努めている。

事業別同社予想

乳原料・チーズ：売上高106,400百万円（前期比7.7%増）、数量172,000トン（同6.0%減）

食肉加工品：売上高15,200百万円（前期比0.4%増）、数量28,000トン（同13.0%増）

アジア事業乳原材料販売：売上高26,800百万円（前期比0.5%増）、販売数量56,500トン（同12.1%増）

アジア事業チーズ製造販売：売上高4,600百万円（同15.5%増）、販売数量5,900トン（同23.3%増）

その他：売上高7,000百万円（前期比149.3%増）

掲載企業の[詳細レポート](#)もご覧ください。

株式会社シェアードリサーチについて

株式会社シェアードリサーチは今までにない画期的な形で日本企業の基本データや分析レポートのプラットフォーム提供を目指しています。さらに、徹底した分析のもとに顧客企業のレポートを掲載し随時更新しています。

ディスクレームー

本レポートは、情報提供のみを目的としております。投資に関する意見や判断を提供するものでも、投資の勧誘や推奨を意図したものでもありません。SR Inc.は、本レポートに記載されたデータの信憑性や解釈については、明示された場合と黙示の場合の両方につき、一切の保証を行わないものとします。SR Inc.は本レポートの使用により発生した損害について一切の責任を負いません。

本レポートの著作権、ならびに本レポートとその他Shared Researchレポートの派生品の作成および利用についての権利は、SR Inc.に帰属します。本レポートは、個人目的の使用においては複製および修正が許されていますが、配布・転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。

株式会社シェアードリサーチの役員および従業員、ならびにその関連会社および関係者は、本調査レポートで対象とされている企業の発行する有価証券に関して取引を行っており、または将来行う可能性があります。

金融商品取引法に基づく表示

本レポートの対象となる企業への投資または同企業が発行する有価証券への投資についての判断につながる意見が本レポートに含まれている場合、その意見は、同企業からSR Inc.への対価の支払と引き換えに盛り込まれたものであるか、同企業とSR Inc.の間に存在する当該対価の受け取りについての約束に基づいたものです。

連絡先

株式会社シェアードリサーチ / Shared Research Inc.
東京都千代田区神田猿樂町2-6-10 Daiwa猿樂町ビル1階
<http://www.sharedresearch.jp>
TEL : (03)5834-8787 / Email: info@sharedresearch.jp